



竹内 滋泰
市政クラブ

主なインフラ整備
について

問 蒲郡駅から三谷方面に向かう市役所前道路の舗装が傷んでいるが、補修の予定は。

答 道路の管理には、県管理と市管理がある。県道部分は、県から優先順位を考えたが、進めていると聞いており、市道部分は主要幹線道路の中で優先順位をつけ計画的に行っていく。

市民病院の安定経営
について

問 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、経営強化プランの策定を進めていると思うがその進捗状況は。

答 これまでの経営改善に取り組んだ成果を評価・点検するとともに新棟建設計画を盛り込んだプランの骨子を作成し、東三河南部構



コミュニティバス

コミュニティバス
について

問 利用促進や利便性の改善を図りながら、さらなる拡充を図っていく必要があると考えるが今後の取組は。

答 地域に密着するコミュニティバスの認知度の向上、利用実績の確認や分析、利用者の声を反映した利用環境の改善、運行路線や停留所の見直しなどについて継続的な協議を進めていく。



柴田 安彦
無党派

マイナンバーカード
について

問 本市での情報漏えいの状況を伺う。

答 令和元年に1件、誤って住民票を送付したため個人番号等が流出したことがある。

問 地方交付税は財源の不均衡を調整するシステムであり、マイナンバーカードの交付率を使って交付税を算定することは、趣旨に反すると考える。政府に反対の意思表示をすべきではないか。

答 マイナンバーカードの利活用には様々な経費が必要になり、その分を基準財政需要額に算入することは、普通交付税の考え方に沿っていると考ええる。ただし、現時点において、算定方法がはっきり示されていないため、その内容を見てか



ら検討していきたい。

問 カードの利用や健康保険証としての登録をしない人への対応について伺う。

答 国の検討段階であるが、カードを取得していない人や紛失した等で健康保険証の資格確認ができない方には、氏名、被保険者記号番号等が記載された「資格確認書」を発行するとしている。

問 利用者の意思を尊重し強引な誘導はやめるべきではないか。

答 カードの申請は任意であり、強引な誘導を行う考えはない。今後も希望する方に対しては、申請サポート等を行っていく。



大向 正義
自民党市議団

市における県事業の
執行状況について

問 東三河建設事務所管内における予算配分の基本的な考え方について伺う。

答 東三河建設事務所では、本市、豊橋市、豊川市、田原市の道路、河川、砂防、海岸、港湾・漁港、下水道、公園、建築と都市の基盤となる施設の整備、維持管理といった多岐にわたる事業を実施している。これらのインフラ施設の整備や維持管理については、「あいち社会資本整備方針2025」などの計画に基づき、地区の状況を踏まえて投資効果を検討し、管内自治体のバランスも見ながら予算配分されている。

問 愛知県三河港務所における予算配分の基本的な考え方は。



答 三河港務所管内での投資効果を検討した上で、管内自治体のバランスも見ながら、優先順位を決めて予算配分をしていると聞いている。

旧統一教会について

問 市民の有志、東三河の市議会議員、信者、元信者約15名で構成する「東三河の旧統一教会を考える市民の会」に所属する旧統一教会元信者の方が市長への面談を要望したら、市長は受けるのか伺う。

答 本件に限らず、面談内容や趣旨、状況等をしっかりと把握した上で判断する。